

防災講演会「最近の自然災害から学ぶこと」を開催

新潟大学災害・復興科学研究所では、平成30年1月に発生した草津白根山噴火、平成30年7月に発生した西日本豪雨災害の調査・研究を行いました。

その結果を踏まえ、新潟に暮らす私たちが学ぶべき教訓とは何かを講演会方式で、地域の皆さまにお伝えし、防災意識を高めることや今後の活動に役立てていただきたいと思います。

記

日時： 平成30年10月21日（日）13：30～14：30

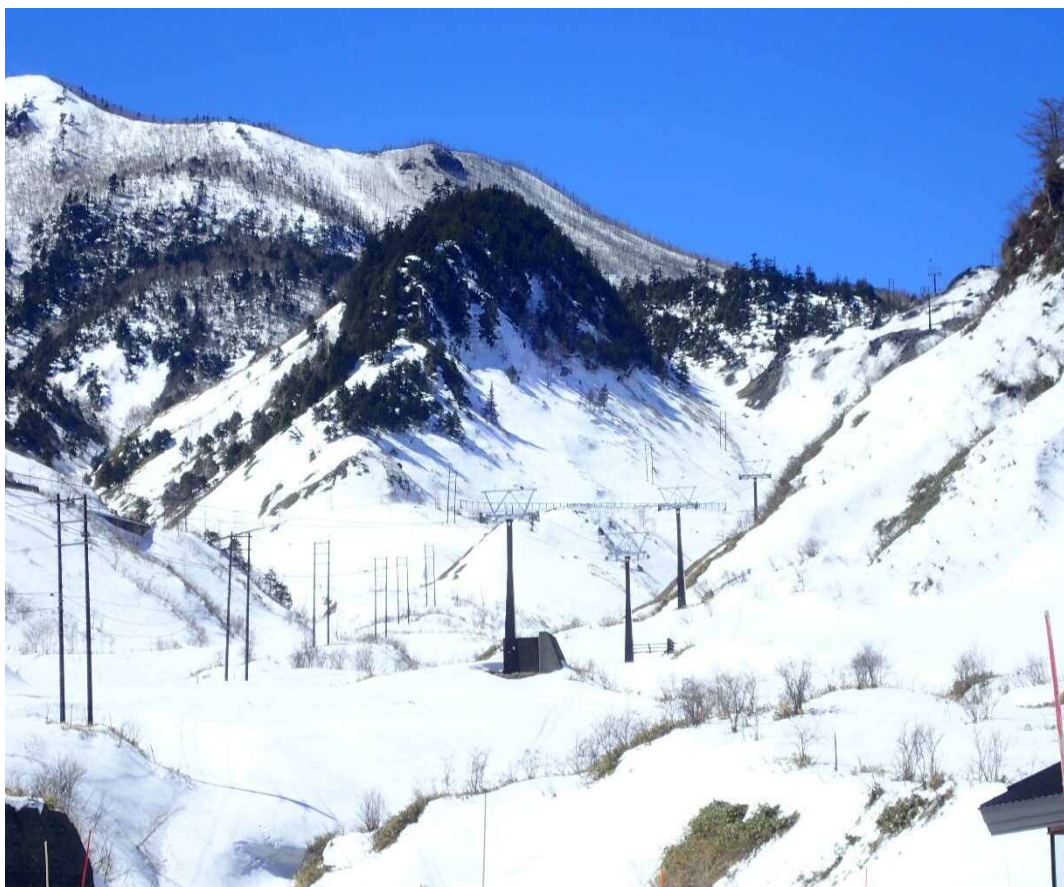
場所： 新潟大学五十嵐キャンパス災害・復興科学研究所 1階プレゼンルーム
※キャンパスマップのS7の建物です。
<http://www.niigata-u.ac.jp/university/map/ikarashi/>

講演：

「2018年西日本豪雨による倉敷市真備町での洪水被害」
災害・復興科学研究所准教授 ト部 厚志

「もし、スキー場や登山中に噴火に遭遇したら
：草津白根山 2018年1月23日の噴火から学ぶこと」
同研究所准教授 片岡 香子

※北海道胆振東部地震の速報も紹介します。



【本件お問い合わせ先】
新潟大学研究企画推進部
研究推進課 萩原
TEL:025-262-6602
FAX:025-262-5645